

しまね いきいきねっと

(公財)ふるさと島根定住財団
(しまね県民活動支援センター)
<http://www.teiju.or.jp/>

2017

1

月号 Vol.105



今月の見どころ

P1. 「地活っちゃんがいく！」
～知ってるつもり!? 島根が育てた偉人たち～

P2. 「農業・農村はカッコいい！」和歌募集最終審査会レポート、
地域づくりオールスター祭予告

P3. 助成金・イベント情報

P4. 島根で頑張る人
NPO 法人介護福祉サービスくすもと
安部 才朗さん、明子さん



第6回

知ってるつもり!?

島根が育てた偉人たち

島根県出身だったり、島根県を舞台に活躍した様々な分野の偉人たち。今回は、彼らの活躍とともに、その偉業を伝えるNPO法人等の団体をご紹介します。少しだけ詳しくなってみると、偉人たちの熱い思いに勇気づけられたり、意外な一面に親しみが持てたりします。島根のことが、なんだかますます好きになるかも!

インド思想・仏教学の

世界的権威
なかむら はじめ
中村 元

(大正元年～平成11年)

松江市生まれ。インド哲学・仏教学者。サンスクリット語などに精通し、仏典の解説・翻訳など代表作は多数。「生きる指針を提示するのも学者の仕事」が持論で訳文は易しい言葉が使われています。



もっと知りたい!

中村元記念館では、書斎の再現や遺品、約3万点の蔵書(一部)を展示。また、東洋思想を学ぶ東方学院松江校の講義も開催されています。☎NPO法人中村元記念館東洋思想文化研究所(松江市八束町波入2060 TEL:0852-76-9593)

島根の社会福祉の礎を築いた

ふくだ へいじ
福田 平治

(慶応2年～昭和16年)

松江市育ち。明治26年の大水害で親を失った子どものため、経営する印刷所を売却し育児院を設立。子どもたちの心の傷の回復に尽力しました。教員であった妹の与志を応援し、共に松江盲あ学校も設立しました。



もっと知りたい!

かつて育児院の礼拝堂だった愛隣会館は取り壊しの計画がありましたが、文化財としての価値が認められたため、NPO法人福田平治・与志顕彰会が募金を集めて記念館として買取・整備しました。予約制で見学可。☎NPO法人福田平治・与志顕彰会(松江市北田町47-11 TEL:0852-22-1979(石橋))



日本の近代スポーツの父

きし せいいち
岸 清一

(慶応3年～昭和8年)

松江市生まれ。弁護士、法学博士、政治家。大学在学中はボート競技に打ち込み、卒業後法曹界で活躍する傍ら、日本体育協会の立上げ、IOC委員就任、ロサンゼルス五輪の選手団派遣に私費を投入するなど、様々なスポーツの普及に貢献しました。

もっと知りたい!

雑賀まちづくり推進協議会は、松江先人記念館・雑賀教育資料館の開設を目指しています。岸をはじめ松江市出身の偉人の貴重な資料や、岸が卒業した雑賀小学校の歴史を展示予定。HPの情報も充実しています。☎松江先人記念館・雑賀教育資料館準備室(松江市雑賀町586雑賀小学校内 HP:<http://senjin.wp.xdomain.jp/>)



梅毒の特効薬を発見

はた さはちろう
秦 佐八郎

(明治6年～昭和13年)

現在の益田市生まれ。細菌学者。北里柴三郎に師事した後、ドイツへ留学。梅毒の原因である細菌に直接効く特効薬サルバルサンを発見し、多くの人を助けました。ノーベル賞の候補にも選ばれました。いたずら好きな子どもだったという逸話も。(写真右)

もっと知りたい!

映画『魔法の弾丸(特効薬の意)』(1940年・米、アカデミー賞脚本賞ノミネート)では秦の活躍も描かれています。NPO-MA SUDAはこの映画の上映や、秦の生涯を紹介する子ども向けリーフレットの販売を行っています。☎NPO法人NPO-MASUDA(益田市あけほの本町3-15島田ビル202号 TEL:070-3773-3860)

第2回 “農業・農村はカッコいい！” 和歌募集 最終審査会レポート

平成28年7月15日(金)から9月20日(火)まで募集していた第2回「“農業・農村はカッコいい！”和歌募集」では、全国23都府県から、計88名・172首のご応募をいただきました。11月19日(土)には雲南市古代鉄歌謡館で最終審査会が行われ、入賞者7名の皆さんによる個性溢れるパフォーマンスに、会場は笑いと涙に包まれました。発表者の皆さま、ご来場いただいた皆さま、そして今回ご応募いただいた皆さま、本当にありがとうございました！以下、結果と作品をご紹介します。

【最優秀賞】

島根県海士町 笹鹿 岳志さん
「選別の鱒のぬめりに夏を知るゴム手袋の青空まぶし」

【優秀賞】

島根県大田市 竹内 恒治さん
「空に星地には稲穂が輝いて鍬ふる君は汗にきらめく」

島根県津和野町 金田 信治さん
「30秒」 掴む水中米袋いつでもいいぞ俺の初陣」

【秀作】

岐阜県揖斐川町 牧村 幸さん
「ドドドド泥上げ走るコンバインおいらのペースで
生きていだけ」

兵庫県伊丹市 藤井 健太さん
「振り返り口に添えし二本指モーター静まる休憩の合図」

兵庫県神戸市 足立 有希さん
「ひとつずつ小さな苗に支柱する強風予報聞きし夕方」

熊本県南阿蘇村 興呂木 和朗さん
「目覚め良し夜明けと共に野良に出る天地の間の我は豆粒」

【特別賞】

島根県津和野町 田中 海太郎さん
「くったくたの身体染み入る焼きナスの
天をも焦がす夕暮れの匂い」

【パフォーマンス賞】

島根県雲南市 白築 純さん
「この町は声掛け合って分け合って
あの街に無き温もりに満ち」

今回の最終審査会&表彰式の様子は
12/29発売の『田舎暮らしの本』
(2月号)にも掲載予定です！



左から藤井さん、田中さん、金田さん、笹鹿さん、竹内さん、白築さん、牧村さん

予告 2/25(土)はみんなでおールスター祭

地域づくり団体、NPO法人、そして田舎ツーリズム実践者のみなさん
お待たせしました！昨年度に引き続き、今年も年度末の大イベント
“オールスター祭”の開催が決定いたしました。さらに今年は、
「地域づくりオールスター祭」「しまねNPO大交流会」「田舎ツーリズム県民フォーラム」の合同開催！
詳しい時間やプログラムについては追ってお知らせしますので、ぜひ楽しみに★

COMING SOON

▼昨年度の様子



- 日にち
2017年2月25日(土)
- 場所
出雲市内
- 対象者
県内の地域づくり団体や
NPO法人のみなさん、
田舎ツーリズム実践者 など



**(一社) 中国建設弘済会
中国地方地域づくり等助成事業**

- 締切日：平成28年12月28日(水)必着
- 助成金額：1件につき上限100万円
- 助成期間：単年度(当該年度の4月～2月末まで)
- 対象事業：国土交通省が実施する施策や整備事業に関連し、将来的にも社会資本整備に繋がる地域づくり、環境保全及び防災等に関するボランティア活動
- 問合せ先：(一社)中国建設弘済会 島根支部
TEL：0853-20-7133 FAX：0853-20-7131
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3512>



**(公財) 杉浦記念財団
第6回 杉浦地域医療振興**

- 締切日：平成28年12月31日(土)
- 対象者：研究者、専門職(医師、介護福祉士等)、自治体、NPO、ボランティア等の方で、全国に波及する可能性を有する活動を行っている団体・個人。ただし、その活動が現在も継続しているものに限る。
- 褒賞：正賞として記念品、副賞として200万円を贈呈
- 問合せ先：(公財)杉浦記念財団
TEL：0562-45-2731 FAX：0562-45-2732
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3501>



**(公財) 双日国際交流財団
2017年度 国際交流助成募集**

- 締切日：平成28年12月31日(土)※当日消印有効
- 助成金額：1件につき10万円～80万円
- 対象事業：海外に於ける日本理解の増進に寄与、貢献する業務及び事業
- 対象者：国際交流促進業務及び事業を行う個人又は団体(ただし、第三者である識者の推薦状添付を求める)
- 問合せ先：(公財)双日国際交流財団
TEL：03-6871-2800 FAX：03-6871-5561
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3513>



**第3回経済的困難を抱える
子どもたちの学習支援活動助成**

- 締切日：平成29年1月5日(木)必着
- 助成金額：1件あたりの助成額100万円～200万円程度
- 対象事業：経済的な理由により学習に困難を抱える子どもたちの意欲を高め、学習に取り組む手助けとなる事業
- 対象団体：上記のテーマで活動を行っているNPO、財団法人等の非営利的活動を行う団体
- 問合せ先：(公財)ベネッセこども基金事務局 助成申請係
TEL：03-5320-3504(月～金10:00～17:00)
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3514>



**平成29年度
地球環境基金助成金**

- 締切日：平成29年1月16日(月)必着
※新規団体のみ。継続団体の募集は既に締切
- 対象団体：NPO法人、一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人、任意団体
- 対象事業：7種類の助成メニューあり。詳しくは募集案内で
- 問合せ先：(独)環境再生保全機構 地球環境基金部
地球環境基金課
TEL：044-520-9505 FAX：044-520-2192
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3523>



**(公財) 倶進会
2017年度 一般助成**

- 締切日：平成29年1月23日(月)必着
- 助成金額：[事業・活動]50万円以内[研究]30万円以内[設備・備品]80万円以内[海外の会議参加]20万円以内[国内の会議開催]40万円以内
- 対象団体：日本国内で活動あるいは研究に従事している団体ないし個人・グループ
- 問合せ先：(公財)倶進会事務局※TELでの問い合わせ不可
FAX：03-5366-5040 Email：mail@gushinkai.com
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3528>



**山陰中央新報社会福祉事業団
「愛のともしび募金」助成事業**

- 締切日：平成29年1月27日(金)必着
- 助成金額：1団体につき上限10万円(15団体程度を予定)
- 対象団体：地域において福祉活動を行う島根県内の団体(NPO法人、住民組織、住民参加型市民活動団体、ボランティア団体等)
- 問合せ先：島根県社会福祉協議会 地域福祉部地域福祉係(担当：樋野)
TEL：0852-32-5997 FAX：0852-32-5982
<https://www.shimane-ikiiki.jp/subsidies/3509>



**成果の導きだし方ワークショップ
[第2弾]自分たちの成果を出す**

- 開催日：[西部]平成29年1月27日(金)
[東部]平成29年1月28日(土)
- 時間：13:00～16:00
- 場所：[西部]鞆の銀蔵(大田市)[東部]ほほ笑み(雲南市)
- 対象：定住財団の助成採択団体、申請予定のある団体等
- 参加費：500円(試食実費)
- 定員：20名(10団体程度)
- 問合せ先：(公財)ふるさと島根定住財団(担当：島田、内田)
TEL：0852-28-0690 FAX：0852-28-0692
<https://www.shimane-ikiiki.jp/events/3504>



11年経って辿り着いた理想の“介護”のかたち

日本の滝百選や全国名水百選にも選ばれ、多くの観光客が訪れる名所、^{だんぎょう}壇鏡の滝。その地の導入部に位置する上那久集落で、地域のお年寄りに寄り添い続ける夫婦がいる。

安部才朗・^{あきこ}明子夫妻が『宅老所くすもと』を開設したのは、今から11年前。いつかは生まれ育った隠岐の島町にリターンしたいと考えていた才朗さんを後押しし、宅老所開設へと導いたのは、妻の明子さんだった。

大学卒業後、東京の民間企業へ就職した才朗さん。姉の紹介で明子さんとも出会い、三児を授かった。その後才朗さんは会社を独立。仕事と育児に追われる日々の中で、家族に転機が訪れる。結婚を機に同居していた才朗さんの母が認知症を発症。さらには、その後徳島から引き取った明子さんの母も認知症を発症し、二人同時の介護が始まったのだ。

長年の介護の末、二人の母を看取った明子さん。その苦勞を知っていたからこそ、明子さんから宅老所を始めようと提案があったとき、才朗さんは心底驚いたという。「もう介護はこりごりだと思っていたけれど、認知症になってもなお“故郷に帰りたい”と口にする母の姿を思い出したの」。そう笑顔で話す明子さんに背中を押され、二人はNPO法人介護福祉サービスくすもとの活動をス

タートした。

宅老所の利用者は、現在5名ほど。父の背中を追いかけ同じくリターンした息子夫婦と一緒に、ここが“終の棲家”だと思ってもらえるような、温もり溢れる介護を目指す。幼い三人の孫も加われば、施設という枠を超え、まるでひとつの大きな家族だ。

平成26年には、廃校となった小学校を拠点に『那久ひまわり学級』を始めた。週1回、周辺の地区から集まったお年寄り約20名が一緒にお昼ごはんを食べ、身体を動かす。参加者のほとんどが独居のため、大勢でにぎやかに囲む食事は格別だ。中には、ひまわり学級がきっかけで数十年ぶりに親友と再会した人もいるのだという。

今年に入り、新たな取り組みも始めた。宅老所の近くに『介護予防ハウス春風』を構え、今後地域おこしの拠点としても活用していくという。秋には観光客に薬草茶を振る舞い、好評を得た。来春には地元のお年寄りが作った雑貨や、絵本作家の顔を持つ明子さんのポストカードなどが並ぶ予定だ。

「介護保険の中でできることは限られているからね。無理のない範囲で、コツコツやっていきたい」と語る才朗さん。介護保険の枠にとられず、地域の課題に真摯に向き合う姿からは、生まれ育った上那久への熱い思いと覚悟を感じた。(E)



NPO 法人介護福祉サービスくすもと
あべとしろく あきこ
安部才朗さん 明子さん

才朗さんは昭和22年、隠岐郡隠岐の島町生まれ。高校卒業後県外へ進学し、東京の民間企業へ就職。その後独立し、平成17年にリターンした。妻の明子さんは徳島県吉野川市出身。絵本作家の顔も持つ。現在は才朗さんが生まれ育った上那久集落を拠点に、夫婦二人三脚で宅老所の運営に携わっている。

団体の主な活動

平成17年3月NPO法人介護福祉サービスくすもとを設立。同年9月に宅老所くすもとを始める。平成26年からは廃校跡で週1回サロンを実施、地域のお年寄りの生きがいとなっている。平成28年には新たに介護予防ハウス春風を開設、地域おこしにも奮闘中。



お昼を食べたあとはみんなで体操



遠くからも目を引く看板は才朗さんの手作り

県内NPO情報 H28.11.30現在

1	県内NPO法人数	全体	281
		内認定	6
		内仮認定	1
2	新設NPO法人数		1
3	解散NPO法人数		0
4	しまね社会貢献基金登録団体数		62
5	だんだん認証レベル取得団体数	全体	41
		内レベル2	28

●今月の新設NPO法人 NPO法人みんなのICT(松江市)
主な活動：ICTの活用に関する事業を行い、障害等により生じる情報格差・生活の不便さに係る問題の改善・解決を図り、ユニバーサル社会・ユニバーサル社会に寄与することを目的とする。

発行元

公益財団法人 ふるさと島根定住財団

〔松江事務局〕

(しまね県民活動支援センター)

〒690-0003 松江市朝日町478-18 松江テルサ3階

TEL (0852)28-0690 FAX (0852) 28-0692

E-mail: shimane@teiju.or.jp

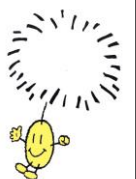
〔石見事務局〕

〒697-0034 浜田市相生町1391-8 シティパルク

浜田2階 石見産業支援センター「いわみびらっと」内

TEL (0855)25-1600 FAX (0855)25-1630

E-mail: iwami@teiju.or.jp



Facebook も日々更新中！

しまね県民活動支援センター（ふるさと島根定住財団）で検索してみてください♪